

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月06日

計画の名称	天岩戸地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	高千穂町												
計画の目標	大目標：神都高千穂の活性化をサポートする岩戸の顔づくり 目標1：岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり 目標2：岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまちづくり 目標3：岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	395	A	395	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R2末)
1	・高千穂町を訪れる年間入込観光客数を1,429千人/年から1,513千人/年に増加させる。 高千穂町を訪れる年間入込観光客数	1429千人/年	1489千人/年	1513千人/年
2	・高千穂町に宿泊する年間観光客数を147千人/年から162千人/年に増加させる。 高千穂町に宿泊する年間観光客数	147千人/年	157千人/年	162千人/年
3	・高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額を35億円/年から38億円/年に増加させる。 高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額	35億円/年	37億円/年	38億円/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	高千穂町	直接	高千穂町	-	-	都市再生整備計画(天岩戸地区)(1-A-1)	道路整備等	高千穂町						395	-		
												小計						395		
												合計						395		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高千穂町公共事業再評価委員会で実施

事後評価の実施時期

R3年度

公表の方法

高千穂町ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・天安河原アクセス遊歩道等の整備によるアクセス性の向上や、観光交流施設（門前通り）やポケットパークの整備による拠点の形成、駐車場整備による利便性向上が進んだ。  
・駐車場整備による訪問者の利便性向上や、天安河原アクセス遊歩道等の整備による回遊性向上、観光資源の魅力の向上が進んだ。  
・チャレンジショップ開店支援・既存店舗改修支援による商業機能の向上や、門前通り改修・観光交流施設（門前通り）の整備による門前通り全体の商業拠点としての雰囲気づくりが進んだ。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

・まちづくりワークショップにより、一部整備方針には地域住民意見が反映されるなど、地域住民のまちづくりに対する意識醸成につながった。また参加した行政職員と町民との信頼とネットワークが培われた。  
・事業実施後に開催された天岩戸地区まちづくり協議会では、門前通りを中心として歴史あるまちの雰囲気が形成されつつあることや、交流施設が地域住民の憩いの場になりつつあることなど、整備効果を評価する好意的な意見が挙げられた。さらに協議会では、今後のまちづくりのあり方についても議論がなされ、地域住民のまちづくりに対する意識向上につながった。

特記事項（今後の方針等）

・観光客のまちなかへの誘導やまちなかのにぎわい創出の効果を持続し高めるため、門前通りの改修や交流拠点施設の拠点性の強化を継続しつつ、訪問者の少ない観光資源を活用するため、新たな魅力を発掘し、周辺環境整備や情報発信を進めるとともに、住民参加型による活性化方策の具体化を進めることで、観光動線上的魅力の向上や、みんなでまちをつくる機運の醸成を図る。  
・観光客の滞在時間延長の効果を持続し高めるため、地区全体に滞在する観光スポットを観光客にもアクセスしやすいように整備することで回遊を促すとともに、回遊行動そのもののしやすさを向上するための仕掛けづくりに関する取り組みを進めることにより、天岩戸地区全体の回遊の推進を図る。  
・効果が顕在化していない観光客の取り込みについては、天岩戸地区を訪れる観光客の利便性や満足度の向上を図るための基盤整備を引き続き進めた上で、観光資源を効果的に伝えるための方法の検討や人材育成等による集客力の向上を目指す。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	高千穂町入込観光客数		
	最終目標値	1513千人/年	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。また、個別の基盤整備は進んだものの、まち全体の活性化に資する面的な環境整備には至らなかったことも要因と推察される。
	最終実績値	759千人/年	
2	宿泊観光客数		
	最終目標値	162千人/年	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。
	最終実績値	115千人/年	
3	観光客消費額		
	最終目標値	38億円/年	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。
	最終実績値	34億円/年	